

## 平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	幻の都・恭仁京と名室・加茂の三塔を活かした民学官による観光まちづくり			
(2) 実施団体名	木津川市地域公共交通総合連携協議会	(3) 対象地域	木津川市域(本年度における主たる対象地域は、加茂地域とする。)	
(4) 代表団体名	木津川市	(5) 推薦団体名		
(6) 実施した取組の内容	<b>取組①</b>	回遊できるバスシステムの転換による地域再生戦略の構築		
	<b>実施主体</b>	奈良交通、木津川市、京都大学		
	<b>実施内容、実施結果</b>	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容: ○歴史的・文化的遺産を結ぶなど、生活交通と観光二次交通の機能を併せ持つ地域バスネットワークを活用した地域再生戦略の構築</li> <li>○生活観光融合型バスシステムの実証運行実験及び検証</li> <li>実施時期: 平成20年10月～平成21年2月</li> <li>実施場所: 木津川市加茂地域</li> <li>取組の目的: 国宝・重要文化財等を有する観光施設を回遊できるように、地域住民を対象として運行しているコミュニティバスのサービスレベルを見直すことにより、観光ネットワークとしての機能を強化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容: ○観光と連携させたバスシステムの路線設計とスキームの構築</li> <li>○バスの増便運行の社会実験及び利用者動向調査の実施</li> <li>実施時期: 平成20年11月～平成21年2月</li> <li>実施場所: 木津川市加茂地域</li> <li>取組の結果: ○運行本数の増加(当尾線:10便→17便(観光シーズン14便→33便)奥畑線・銭司線・西線:6便→8便(運行日:週3回→週5平日))やパターンダイヤの導入、鉄道との乗り継ぎ利便性の向上、バスに関する情報提供の充実、回数券の発行等、サービスレベルの向上に取り組んだ。</li> <li>○その結果、利用者数が大幅に増加した。当尾線(平成19年11月2100人→平成20年11月3300人・55%増加)、加茂地域路線合計(平成19年11月720人→平成20年11月900人・25%増加)</li> </ul>	
	<b>取組②</b>	地域との協働による観光資源発掘事業		
	<b>実施主体</b>	木津川市、京都大学		
<b>実施内容、実施結果</b>	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容: ○文化財等情報のデータベース化</li> <li>○戦略的な観光プレゼンテーション方策及び地域への還元方策の検討</li> <li>実施時期: 平成20年10月～平成21年2月</li> <li>実施場所: 木津川市加茂地域</li> <li>取組の目的: 木津川市の歴史的文化的遺産等の地域資源を再発見し、観光客の回遊性を創出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容: ○プレゼンテーション戦略ツールの作成及び小学生等との連携によるイベントの開催</li> <li>○観光客及び住民を対象とした観光チラシの配布</li> <li>○回遊用観光マップの配布</li> <li>○地元の団体と連携した取組の検討</li> <li>○デザイン戦略の検討</li> <li>実施時期: 平成20年10月～平成21年2月</li> <li>実施場所: 木津川市加茂地域</li> <li>取組の結果: ○市外からの観光客を対象とした観光チラシの作成に加えて、住民にも地域のことを知ってもらい地域の観光資源を訪ねてもらう取組も実施した。プレゼンテーション戦略ツールとして、クリアフォルダを透して恭仁京跡を見ると恭仁京の雰囲気味わえるものを作成、恭仁京を10分の1に縮小した大型のペーパークラフトも作成した。また、小学生や地域の方々を対象に、それらのツールを用いたイベントを開催するとともに、木津川市全域に観光チラシを配布した。</li> <li>○回遊用観光マップを駅や観光施設に設置し、観光客を対象に配布することにより、回遊しやすくなった。</li> <li>○音声を活用した観光プレゼンテーションの仕組みづくりについて、端末機器の特徴を踏まえ整理した。</li> <li>○地元の団体と連携した取組としては、小学生による恭仁京の大型ペーパークラフト作成を実施するほか、食の戦略や回遊戦略について検討を行っている。また、デザイン戦略としては、通年版のポスター及びチラシやバス・バス停、寺周辺の修景デザインについて、イメージ作成を行っている。</li> </ul>		
<b>取組③</b>	観光情報の発信力向上戦略の構築			
<b>実施主体</b>	木津川市、京都大学			
<b>実施内容、実施結果</b>	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容: ○観光、地図、地域交通情報、歴史的文化的遺産、関西学術研究都市など観光と交通アクセス情報等を組み合わせた総合的な情報発信システムの構築</li> <li>○市民との協働による持続的な情報サイト運営システムの検討</li> <li>○市民が主体となったメールマガジンなど情報発信戦略の検討</li> <li>実施時期: 平成20年10月～平成21年2月</li> <li>実施場所: 木津川市加茂地域</li> <li>取組の目的: 木津川市の歴史的文化的遺産等の地域資源の情報を整理するとともに、情報発信機能を充実させ、リピーター化の促進及び観光客数の増加を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容: ○木津川市ホームページを活用した観光来訪者への情報提供</li> <li>○歴史的文化的遺産と公共交通を連携させた情報サイト(ホームページ又はブログ)の立上げ</li> <li>○歴史的文化的遺産のデータベース化</li> <li>実施時期: 平成20年11月～平成21年2月</li> <li>実施場所: 木津川市加茂地域</li> <li>取組の結果: ○リピーター化の促進及び観光客数の増加を図るために、情報サイトについては、歴史的文化的遺産のデータベースを活用し、コンテンツを作成中。木津川市ホームページにて観光来訪者への情報提供を行っているほか、地域の団体に協力を得、情報発信の具体的検討を行う。</li> </ul>		

	平成20年度の取組実施における体制・役割分担	取組の実施を踏まえた反省点								
(7)実施体制	<p>●木津川市地域公共交通総合連携協議会 下記のとおり構成されており、それぞれの役割を分担。</p> <p>○学識経験者：京都大学（主担当：取組①、②、③） 運行計画の素案づくり、戦略的なプレゼンテーション戦略の検討、全事業のコーディネイト。</p> <p>○市民代表：観光協会、民生児童委員、公募委員等（主担当：取組①、②、③） 市民の視点に立ったアドバイス</p> <p>○鉄道事業者（主担当：②） 観光パンフレットの配布</p> <p>○乗合バス事業者、貸切バス事業者、タクシー事業者（主担当：①） バス等の運行</p> <p>○近畿運輸局京都運輸支局、近畿地方整備局京都国道事務所、京都府、京都府公安委員会（主担当：①） バス等の運行する際の調整</p> <p>○木津川市（主担当：①、②、③） 協議会代表団体、地方の元気再生事業の事務局として、各取組の管理を行う他、関係者間の調整や広報等を担当。</p> <p>事業を進めていくに当たり、以下の市民団体、観光施設とも連携体制を整えた。</p> <p>○NPO法人ふるさと案内・かも（主担当：②） 観光案内の充実</p> <p>○海住山寺、岩船寺、浄瑠璃寺（主担当：②、③） 観光パンフレットの配布、観光資源データの提供</p>	<p>取組①：運行計画の素案づくりを京都大学が担当し、道路・交通管理者との調整を行った結果、円滑にバス事業者が運行を行うことができた。利用者が大幅に増加し、観光客の回遊性も高まるなど順調に推移している。今後は、観光閑散期の利用促進にも努め、通年的に観光客が訪れることを目指す体制づくりを行う。</p> <p>取組②：鉄道事業者や観光施設の協力により、交通結節点や観光施設で観光チラシの配布等を行い、観光客に情報を発信することができた。また、京都大学の提案によるプレゼンテーション戦略ツールを用いて、イベントを開催した結果、住民の地域に対する関心が高まった。</p> <p>取組③：観光施設の協力により、観光資源データを充実することができ、持続的に運営する環境を整えることができた。今後に向けては、情報更新のためのシステムづくりを目指す。</p>								
(8)取組により得られた成果	<p>○成果1→ 情報発信の充実、来訪者の満足度の向上による、加茂地域の観光入込客数の増加</p> <table border="1" data-bbox="450 1246 1106 1294"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20(当初予定していた目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>345,832人</td> <td>400,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>H20(実際に得られた成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービスレベルを見直したコミュニティバス社会実験を実施した結果、観光施設のアクセス性が向上。</li> <li>住民を対象とした観光チラシの配布により観光促進を図ったとともに、回遊用観光マップを配布することによる回遊行動の創出により、観光客数が増加、減少傾向が緩和。</li> </ul> <p>観光客数 概数(11月) 岩船寺 6%増(昨年度:7,900人、今年度:8,400人) ※参考:1~11月 増減なし(昨年度:40,200人、今年度:40,200人) 10月まで増加が見られなかったものの、バスダイヤ改良後の11月に増加に転じる。 浄瑠璃寺 5%減(昨年度:13,300人、今年度:12,600人) ※参考:1~11月 8%減(昨年度:61,300人、今年度:56,400人) 浄瑠璃寺では、庭園の見学は入場料が必要なく、観光客数をカウントしていないため、実際の観光客は多いと考えられる。 10月までの減少傾向に比べ、11月には減少傾向が緩和 来訪客からは、浄瑠璃寺と岩船寺の間の移動が便利になり、回遊がしやすくなったとの評価を得ている。(アンケート調査結果等による)</p> <p>○成果2→ 加茂地域内を運行するコミュニティバスの再編と運行見直しによる利用者の増加</p> <table border="1" data-bbox="450 1031 1106 1078"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20(当初予定していた目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24,499人</td> <td>30,000人(22%増)</td> </tr> </tbody> </table> <p>H20(実際に得られた成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバス社会実験において、運行本数の増加やパターンダイヤの導入等、サービスレベルを向上させることにより、コミュニティバスの利便性が向上。</li> <li>ホームページ上でのダイヤ掲載やダイヤの配布によるバスと鉄道の乗り継ぎについての情報を提供・充実させたことにより、バス利用者数が大幅に増加。</li> </ul> <p>当尾線のバス利用状況(11月) 57%増(昨年度:約2,100人、今年度:約3,300人) 加茂地域路線利用状況(11月) 25%増(昨年度:約720人、今年度:約900人) 従来の閑散期である12月においても約25%増加。お正月の仏像開扉への来訪もアピールしたことなどから1月(11日までの実績)も40%程度の増加で推移している。</p>	H19	H20(当初予定していた目標)	345,832人	400,000人	H19	H20(当初予定していた目標)	24,499人	30,000人(22%増)	<p>・今年度の取組によって、恭仁京・加茂の三塔のPR等により、観光施設が回遊しやすくなり、観光客の増加、減少傾向の緩和が見られた。それらを活かして隣接する奈良市において2010年に開催される平成遷都1300年記念事業と連携し、木津川地域の活性化を図る。</p> <p>・今年度の取組を通じ、観光案内のNPOや観光施設との連携・協力体制を構築できたところであり、今後、その強化を図るとともに、他のボランティア団体等との新たな連携・協力体制を構築しながら、持続可能な取組・活動を進める。</p> <p>・より多くの人に訪問してもらうために、通年版ポスター・チラシの作成やデザイン戦略の実現化等により、京阪神都市圏や海外を対象とした広報活動を実施する。</p> <p>・情報サイトの充実に向け、収集された情報を活用するとともに、最近発表、報道された高麗寺跡や馬場南遺跡など新たな観光資源が発見されたことから、それらを踏まえ新たなコンテンツを発掘する。</p> <p>・今年度のコミュニティバス社会実験で利用者数が大幅に増加しているところであり、今後とも持続的な公共交通を確保するために、沿線住民を対象としたバス利用の促進を強化する。</p>
H19	H20(当初予定していた目標)									
345,832人	400,000人									
H19	H20(当初予定していた目標)									
24,499人	30,000人(22%増)									
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点										

	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度
(10)平成21年度以降の活動の見込み	1. 観光情報の充実とまちの活性化(平成21～23年度) ・情報サイトの充実に向けた新たなコンテンツの発掘 ・情報サイトの充実と新たな観光資源の発信	1. 観光情報の充実とまちの活性化(平成21～23年度) ・実施主体: 京都大学、木津川市、観光協会、観光案内のNPOやボランティア団体 ・回遊用観光マップ等の観光戦略ツールを配布することにより、マップを利用している人が見られたことから、配布を継続しつつ地域の拡大を図っていくとともに、その他の回遊ルートにおいてもマップ等を作成し、シリーズ化する。 ・観光施設周辺において、歴史的景観に調和するよう、家屋やその他の工作物の外観を伝統的建築様式にあわせながら改築・改修することを提案する。また、地域の修景と地域の製品の販売促進を目指した実験的な取組を行う。  〔活用を希望する制度: 上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額:平成21年度 800万円)〕
	2. 地域公共交通の充実(平成21～23年度) ・コミュニティバス・福祉バスの再編のための実証運行準備 ・コミュニティバス・福祉バスの実証運行	2. 地域公共交通の充実(平成21～23年度) ・実施主体: 京都大学、木津川市、バス事業者 ・観光シーズンに加えて観光閑散期においても、観光客の大幅アップを目指すため、公共交通を充実し、観光施設へのアクセス性や回遊性向上をアピールするとともに、閑散期における魅力の創出(例えば、浄瑠璃寺・岩船寺等における季節の花めぐりや当尾地域の石仏めぐりなど)を行い、通年的な利用の定着を目指す。 ・観光客に加え、沿線住民の利用者数の増加に向け、地域住民との協働による利用促進活動を展開し、利用の定着を目指す。  〔活用を希望する制度: 上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額:平成21年度 700万円)〕
	3. 関連事業との連携(平成21～23年度) ・平城遷都1300年記念事業の観光・コミュニティバスの活用による地域再生方策の検討 ・地域再生事業と市民との協働体制の充実と関係機関協議 ・平城遷都1300年記念事業の観光・コミュニティバスの活用 ・平城遷都1300年記念事業の共同事業による地域活性化対策の実施	3. 関係事業との連携 ・実施主体: 京都大学、木津川市 ・2010年に隣接する奈良市で開催される平城遷都1300年記念事業との連携を図り、地域活性化対策を実施する。とりわけ、平城京とゆかりの深い恭仁京と、国内で確認される最古の築地塚として一昨年11月に大きく報道された高麗寺跡や、さらに文献に登場せず、国内に類例がないとされる奈良時代の寺院跡として本年1月に報道された馬場南遺跡など新たな観光資源が木津川市には存在し、全国的に注目を浴びてきていることから、それらを活かした観光振興を図る。  〔活用を希望する制度: 上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額:平成21年度 300万円)〕

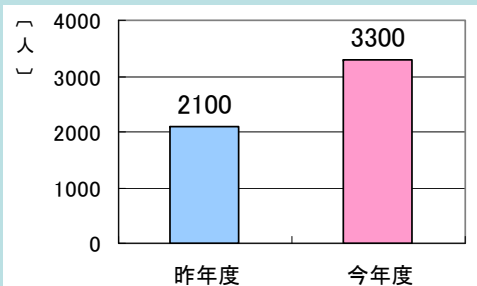
# 幻の都・恭仁京と名宝・三塔を活かした 民学官による観光まちづくりプロジェクト(京都府木津川市) —木津川市地域公共交通総合連携協議会—

## ◆主な実施取組の内容◆

### 取組①: 回遊できるバスシステムの転換による 地域再生戦略の構築

実施主体: 奈良交通、木津川市、京都大学  
 実施内容: ・観光と連携させたバスシステムの路線設計とスキームの構築  
 ・バスの増便運行の社会実験及び利用者動向調査の実施  
 実施結果: 利用者数が大幅に増加(55%増)

#### ■当尾線のバス利用状況(11月)



#### ■当尾線を利用する観光客



#### ■情報提供の充実



↑案内板  
時刻表→

### 取組②: 地域との協働による観光資源発掘事業

実施主体: 木津川市、京都大学  
 実施内容: ・プレゼンテーション戦略ツールの作成及び小学生等との連携によるイベント開催  
 ・観光客及び住民を対象とした観光チラシの作成・配布  
 ・回遊用観光マップの配布  
 ・地元の団体と連携した取組の検討  
 ・デザイン戦略の検討

実施結果: 観光客の回遊行動の創出、観光客の増加傾向

#### ■住民向け観光チラシ

##### ・回遊用観光マップ



#### ■プレゼンテーション戦略ツール: 一例

・恭仁宮跡で風景に重ね合わせるとかつての都の雰囲気が味わえるクリアフォルダ



#### ・回遊用観光マップを使う観光客



#### ■デザイン戦略



#### ・ポスターイメージ



### 取組③: 観光情報の 発信力向上戦略の構築

実施主体: 木津川市、京都大学  
 実施内容: ・木津川市HP活用した観光来訪客への情報提供  
 ・情報サイトの立上げ  
 ・歴史的文化的遺産のデータベース化

実施結果: 観光来訪者へ情報を提供

#### ■木津川市HPを活用した情報提供



#### ■歴史的文化的遺産データベース化



## ◆取組実施による成果・今後の展開◆

取組実施による成果: 観光客及びコミュニティバスの利用者の増加 今後の展開: 観光情報の充実とまちの活性化や地域公共交通の充実、平城遷都1300年記念事業等関連事業との連携や市内他地域への取り組み展開により、持続的展開が可能な体制づくりの強化と事業の充実を図り、観光客の増加と地域住民の交流による、元気な地域の再生を行う。